

10月で**満1歳**
おめでとう

わが家の **HOPE**
ホープ



高橋達也さん・由佳さんのお子さん
こうき **倅希**ちゃん (三刀屋町古城)
平成18年10月31日生まれ
いたづらが大好きな倅希。只今、お兄ちゃん、お姉ちゃんにもまれ、たくましく成長中!!



谷口新吾さん・亜弓さんのお子さん
だいき **大輝**ちゃん (掛合町波多)
平成18年10月25日生まれ
名前の通り大きくなりました!お兄ちゃんとお姉ちゃんに大きくなるといいね。



桑原克典さん・真由美さんのお子さん
だいが **大河**ちゃん (木次町里方)
平成18年10月24日生まれ
ごはんをいっぱい食べて、お姉ちゃん達みたいに大きくなるぞ~!



加藤信也さん・美穂さんのお子さん
あおい **葵**ちゃん (大東町下佐世)
平成18年10月2日生まれ
あーちゃん、誕生日おめでとう!ちい姉、はる兄と仲良く、元気に大きくなってね!



舟木洋介さん・裕子さんのお子さん
ゆうせい **悠晟**ちゃん (木次町里方)
平成18年10月11日生まれ
いつも笑顔で元気いっぱいのお悠ちゃん。元気でびのび育ってね。



坂川 健さん・宏子さんのお子さん
あおい **葵**ちゃん (木次町木次)
平成18年10月2日生まれ
お誕生日おめでとう☆元気いっぱい!笑顔いっぱい!でススス大きくなあれ♪



佐藤 実さん・直美さんのお子さん
たいち **大知**ちゃん (加茂町三代)
平成18年10月29日生まれ
1歳おめでとう!大きくなったね☆いっぱい遊んで、元気で真つすぐな子に育ってね♪



小林健次さん・あけみさんのお子さん
あおい **葵**ちゃん (木次町西日登)
平成18年10月6日生まれ
葵ちゃん、お誕生日おめでとう!いっぱい食べていっぱい遊んで元気に大きくなってね。



上原康宏さん・幸恵さんのお子さん
しゅう **珠侑**ちゃん (大東町上佐世)
平成18年10月28日生まれ
珠侑ちゃん誕生日おめでとう!!いっぱい遊んでたくさん友達作って元気で優しい子になあれ!!



小川貴久さん・直美さんのお子さん
りく **莉空**ちゃん (木次町下熊谷)
平成18年10月15日生まれ
♪お誕生日おめでとう♪やんちゃな莉空が大スキだよ♡これから莉空らしく大きくなあれ☆♡



渡部輝雄さん・美紀さんのお子さん
しょうた **翔太**ちゃん (大東町田中)
平成18年10月25日生まれ
☆1才のお誕生日おめでとう☆翔太ちゃんのカワイイ笑顔いつも元気をもらってる♡すくすく大きくなってネ!

11月で満1歳
(平成18年11月生まれ)
になるお子さんを募集!

写真にコメント(40字程度)を添え、郵便またはE-mailで**10月5日(金)**までに情報政策課へお送りください。

【問】情報政策課 ☎0854-40-1015
〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1
E-mail: jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp

※市ホームページにも市報うんなんを掲載します。

Q 財政計画で掲げている「保健医療関係経費の抑制」は医療にかかった人の負担を引き上げ、公費負担を少なくするという意味ではなく、保健推進事業、健康づくり事業などを推進し、市民の皆様が医療にかかることを少なくし、医療費を抑制するという意味です。雲南市では障害者自立支援促進法制定以降は、独自で重度障害者に対する助成の上乗せを行っています。

Q 5年後、10年後を考えると人口減、世帯減に不安を覚えます。地方自治の根幹は、「安心して暮らせる」社会という中で、こういった不安を払拭するに、雲南市としての取り組みがありますか。

A 少子化・高齢化問題は大変大きな問題です。「こうすればすぐによくなる」といった特効薬が見出せない状況です。国の施策と連携しながら、一緒に検討や努力をしていくしか方法がないという気がします。できることは一生懸命やっていきますので、みなさんと一緒に進めていきたいと思っています。雲南市としては、将来ビジョンをしっかり持つていかなくてはならないと思っています。少子化問題、高齢者対策、中山間地の荒廃問題といったことを総合的に考えた視点が必要だと思っています。

Q 10年くらいの長期的で奇抜なアイデアでどこにも負けない少子化対策・定住施策を考えてください。

A 子育て負担の軽減対策が第一に必要と考えています。少子化対策で成功している国はフランスだそうです。あらゆる面での経済的負担を軽減してきた結果と聞いています。子育てについてアンケートをとった際も経済的負担が一番気になるようです。あれこれの選択の中で、「子育てするなら雲南市」と思われるような、経済的負担を軽減する施策を検討します。これまでも医療費の負担を軽減する等の施策を行っています。

Q 今後の市民バスの運行についてどのように考えていますか。

A 今までは、県からの補助金を受けていましたが、利用率が20%に満たない場合は補助を受けることができません。その中で市はサービスを下げず、まず経費の削減を図っており、その上で利用率の極端に低い路線については、見直していく考えです。今年度から加茂や吉田のスクールバスと市民バスの統合を行いました。利用率の低いところについては、地区の皆さんと相談しながら今後も見直しを行っていかねばならないと考えています。

Q その他意見として

A すべての年金加入者に対し社会保険事務所から記録が伝えられれば年金問題は解決すると思います。市役所でも、「社会保険事務所に聞きなさい」ではなく、「質問があれば聞いてください」という親切な対応をされるよう要望します。

Q 情報公開の徹底ということで、いろんな情報が提供されています。2日に一度ホームページを見ています。さらに行政のサービス機能を充実するよう努力してください。

Q 保育園(の民間委託)について、子どもは市の財産なので、利潤の追求はしないでください。

Q まとめ

この他にも懇談会へ参加していたいたみなさんからたくさんのご意見やご提言が寄せられました。すべての掲載はできませんでしたが、寄せられたご意見やご提言、その回答につきましても、市ホームページにも掲載する予定です。ぜひご覧下さい。

市では、みなさんから寄せられたご意見やご提言を新しいいまちづくりに活かしていきます。

懇談会へ参加していただきありがとうございました。

雲南市長の「ラ・ム

先月号の本欄でも触れましたが、8月下旬に10人の大学生の皆さんが雲南市に5日間滞在され、「幸運さがし」をしていただきました。今回は、吉田町と掛合町での調査で、その報告会が8月24日に掛合町生涯学習センターで行われました。短い調査期間であったにもかかわらず、若い皆さんの感性を十分に発揮された報告会でした。

発見された「幸運」は、普段私たちが当たり前と思っていたことがほとんどでした。例えば、複数世代家族が多い、食べ物のおすそ分け、まるで虫の博物館、商工会の女性が元気、だんだん、ほんじましたの出雲弁、ごはんが絶品、煮しめが美味しいなどなど。

つまるところ、普段の私たちの生活そのものが、都会の皆さんにとっては懐かしさ、優しさであり、雲南市が誇る魅力、幸運との発表でした。もちろん、厳しい指摘もあり、その代表がせつかく合併したのに隣町の一体感が感じられないとのことでした。

地域の「幸運」に気付き、磨きをかけることは、「幸運なんです。雲南です。」の意識の共有となり、地域への一体化への道と確信します。

“幸運さがし”発表会